

2010
4・15
毎月15日発行

月刊んぼ新聞 vol.18

NPO

発行元：山形市民活動支援センター指定管理者
NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル（担当：柴田）

この情報紙は、山形市民活動支援センターが発行する月刊紙です。センターの月毎の情報や皆さんからいただいた情報をお伝えしていきます！

市民活動支援センターカレンダー

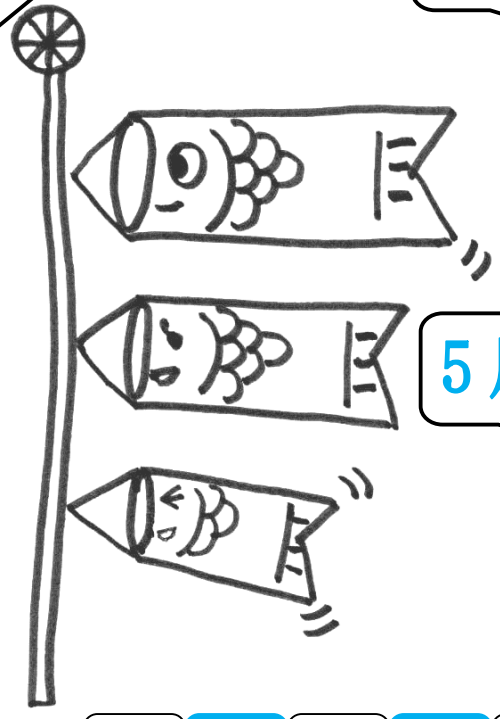
4月 ※○は休館日、☆は、講座・イベント開催日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑲	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28	⑳	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	④	⑤	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	25	26	27	28	29
30	⑳					

公開プレゼン事業応募締切日



センターからお知らせ

イベント予定

参加団体募集中

市民活動支援センター 図書コーナーに新刊が入りました！

山形市民活動支援センターの22階に、図書コーナーがあり市民活動にお役立ちの図書を揃えています。

NPO法人設立に関する本や団体運営に関する本など多数取り揃えていますので、ぜひご利用ください。お待ちしております。

登録団体には、図書の貸出もしております。

＜新着図書のご紹介＞

- いくつもの壁にぶつかりながら 19歳、児童買春撲滅への挑戦 (著者：村田早耶香 出版：PHP研究所)
- 60歳から少しだけ社会貢献を始める本 (著者：佐藤葉、清水まさみ 出版：実務教育出版)
- 日置真世のおいしい地域づくりのためのレシピ50 (著者：日置真世 出版：筒井書房)
- 社会起業家の条件 (著者：マーク・アルピオン 出版：日経BP出版センター)
- ワールド・カフェをやる (著者：香取一昭、大川 恒 出版：日本経済新聞出版)
- シティプロモーションー地域の魅力を創るしごと (著者：河井孝仁 出版：東京法令出版)
- まちづくりの「経済力」養成講座 (著者：木下齊 出版：学陽書房)

など、計19冊の新着図書が加わりました！

☆詳しくは、当センターホームページTOPページのtopicsをご覧ください！

「山形市コミュニティファンド市民活動支援補助金・公開プレゼンテーション」事業募集開始のお知らせ

より住みやすい山形の実現を目指して活動する市民活動団体のチャレンジをサポートする、「山形市コミュニティファンド市民活動支援補助金制度」。本年度も事業の募集を開始いたします。

「山形市コミュニティファンド市民活動支援補助金」は、NPO法人や市民活動団体が立ち上げる新規事業に対して30万円を上限として事業費を援助する制度です。(補助対象事業は公開プレゼンテーションによる市民投票をもとに決定します。)

- 募集締切り：平成22年5月21日(金)まで
- 申込み窓口：霞城セントラル22階
山形市民活動支援センターの窓口までご提出ください。
- 補助金交付先の決定方法：公開プレゼンテーション方式
(市民審査員の投票により決定します)

【公開プレゼンテーションの開催】

- 場所：〒990-8580 山形市城南町1丁目1-1
霞城セントラル3階 保健センター大会議室
 - 日時：平成22年7月25日(日)午後1時より
- ※この補助金は、NPO法人だけではなく、組織として活動する市民活動団体も対象となります。市民活動団体の方々の応募をお待ちしております。
- ※補助金の申請を希望する団体は、山形市民活動支援センターまでご相談ください。
- ※今年度より、昨年度補助を受けた団体の2年連続の応募が可能になりました。ただし応募団体が20団体を超えるような場合には、第一次選考で「連続の応募でない団体」を優先的に選考いたします。

お申し込み・お問い合わせは、市民活動支援センター(TEL:023-647-2260 FAX:023-647-2261)まで

助成金情報

平成22年度社会福祉助成・NPO法人設立資金助成

(財団法人損保ジャパン記念財団)

受付期間：平成22年4月1日(木)～4月30日(金)まで(当日消印有効)

対象：対象者社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体
但し、平成22年度中に設立認証申請を行うことを原則とします。
(所轄庁受付日が、平成22年4月1日から平成23年3月31日までのもの)

対象事業：活動内容障害者、高齢者を対象とした、主として在宅福祉に関する活動
法人設立に関する費用であれば使途は問いません。

助成金額：1団体30万円 本年度の総額は未定(平成21年度実績は30件)

受付期間：平成22年4月1日(木)～4月30日(金)まで(当日消印有効)

問い合わせ先：

損保ジャパン本社ビル内 損保ジャパン記念財団 社会福祉助成係

詳しくは下記のURLから

<http://www.sj-foundation.org/jyosei/syakaifukushi.html>

平成22年度ニッセイ財団 高齢社会助成(公益財団法人日本生命財団)

受付期間：(1)実践的研究助成 ～平成22年6月15日(火)

(2)先駆的事业助成 ～平成22年5月31日(月)

対象：代表研究者は、当該研究組織を代表し、その中心となって研究の取りまとめを行い、研究助成金の管理及び報告事務等を含めて研究計画の推進に責任をもちうる人となります。

対象事業：(1)実践的研究助成

(2)先駆的事业助成

助成金額：(1)1件当たり200～250万円程度

(2)1団体当たり700万円以内

問い合わせ先：

日本生命財団 高齢社会助成 事務局 (TEL:06-6204-4013)

詳しくは下記のURLから

http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/O2_gaiyo.html

おすすめブックナビ



いくつもの壁にぶつかりながら
19歳・児童買春撲滅への挑戦
村田早耶香



「いくつもの壁にぶつかりながら
19歳、児童買春撲滅への挑戦」

著者：村田早耶香

(NPO法人かものはしプロジェクト共同代表)

出版：PHP研究所

大学生のときに、スタディツアーでタイの児童買春が問題となっている状況を目の当たりにした著者が、仲間とともに貧困と売春問題を解決する「かものはしプロジェクト」を立ち上げることに。困難にぶつかりながらも、思いが共感を呼び、様々な人に支えられ、前進していく姿が描かれています。社会起業家やソーシャルビジネスに関心のある方はもちろん、そうでない方も読んでみると「あきらめなければ社会は変えられる」ということを感じるノンフィクションです。(藤井)

センター登録団体のつなぐコラム vol.18

今回のコラムは・・・

(特活)山形親子療育支援ネットワーク

代表 木村伸子さん

ホームページはこちら

<http://www.ryouikushien.net/>

山形親子療育支援ネットワークは前身をすぎの子教室と言い、自閉症の子を持つ親御さん達によって立ち上げられました。昭和45年のことです。山形大学の先生や学生さん達、小学校の先生方や行政の方々、大勢の方の力添えを受けてスタートした「自閉症幼児の個別療育」のための場でした。以来40年間、ずっとボランティアの精神は受け継がれています。平成9年に山形親子療育支援ネットワークというNPO法人に変わりました。現在は幼児のための「すぎの子教室」、学童の放課後療育のための「アイアイひろば」、成人の日中活動のた

めの「生活塾アイアイ」を3本柱とする福祉事業を行っています。他にも小学生のための体操教室、余暇支援のためのプール教室、市社協助成によるパソコン教室など、自閉症の人がそれぞれのライフステージを豊かに暮らせるための様々な活動も開いています。モットーは「みんな楽しく穏やかに！」千歳山のふもとにある「デイサービスセンターアイアイ」にみなさんどうぞ立ち寄りてください。

山形市市民活動支援センター

■開館時間 9:30～22:00(23階の展示コーナー・学習コーナーは18:00までの開館となっております) ■休館日 月曜、祝日(月曜が祝日の場合翌日)、年末年始

■所在地 〒990-8580 山形市城南町1丁目1-1 霞城セントラル22階・23階

■TEL 023-647-2260 ■FAX 023-647-2261

■ホームページ <http://www.yamagata-npo.jp/> ■ブログ <http://blog.yamagata-npo.jp/center/>

■E-mail center@yamagata-npo.jp

★霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。

(印刷と相談の方は1団体2名、2時間までの補助があります。)

メールマガジン発刊中!

配信希望の方は、

kanri@yamagata-npo.jp

まで、ご連絡ください!